

1 2枚の硬貨を同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。

- ① 1枚が表、もう1枚が裏となる確率
- ② 2枚とも裏となる確率
- ③ 少なくとも1枚が裏となる確率

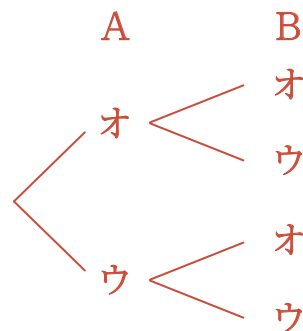
2 2個のさいころを同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。

- ① 目の和が5となる確率
- ② 目の和が奇数となる確率
- ③ 目の和が6以上となる確率

1 2枚の硬貨を同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。

① 1枚が表、もう1枚が裏となる確率

$\frac{1}{2}$ 起こりえる場合は全部で4通りあり、
1枚が表、もう1枚が裏となる場合は
(オ,ウ)(ウ,オ)の2通りなので、
求める確率は $\frac{2}{4} = \frac{1}{2}$ となる。



② 2枚とも裏となる確率

$\frac{1}{4}$ 起こりえる場合は全部で4通りあり、
2枚とも裏となる場合は1通りなので、求める確率は $\frac{1}{4}$ となる。

③ 少なくとも1枚が裏となる確率

$\frac{3}{4}$ 起こりえる場合は全部で4通りあり、
少なくとも1枚が裏となる場合は(オ,ウ)(ウ,オ)(ウ,ウ)の
3通りなので、求める確率は $\frac{3}{4}$ となる。

2 2個のさいころを同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。

① 目の和が5となる確率

$\frac{1}{9}$ 起こりえる場合は全部で36通りあり、
目の和が5となる場合は4通りなので、
求める確率は $\frac{4}{36} = \frac{1}{9}$ となる。

A \ B	1	2	3	4	5	6
1				○		
2			○			
3		○				
4	○					
5						
6						

② 目の和が奇数となる確率

$\frac{1}{2}$ 起こりえる場合は全部で36通りあり、
目の和が奇数となる場合は18通りなので、
求める確率は $\frac{18}{36} = \frac{1}{2}$ となる。

A \ B	1	2	3	4	5	6
1		○		○		○
2	○		○		○	
3		○		○		○
4	○		○		○	
5		○		○		○
6	○		○		○	

③ 目の和が6以上となる確率

$\frac{13}{18}$ 起こりえる場合は全部で36通りあり、
目の和が6以上となる場合は26通りなので、
求める確率は $\frac{26}{36} = \frac{13}{18}$ となる。

A \ B	1	2	3	4	5	6
1					○	○
2				○	○	○
3			○	○	○	○
4		○	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○	○
6	○	○	○	○	○	○